

世界CoCosオープン
〈愛称:ココマスター〉

追加型投信/内外/その他資産

月次レポート

2019年
09月30日現在

為替プレミアムコース(毎月決算型)

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	6,767円
前月末比	+63円
純資産総額	2.53億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第53期	2019/09/19	90円
第52期	2019/08/19	90円
第51期	2019/07/19	90円
第50期	2019/06/19	90円
第49期	2019/05/20	90円
第48期	2019/04/19	90円
設定来累計		4,770円

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.3%	2.4%	6.0%	4.0%	30.6%	22.1%

■資産構成

	比率
投資信託証券	98.2%
ワールド・ココス・ファンド	98.2%
カバード・コール・クラス	
マネー・プール マザーファンド	0.0%
コールローン他	1.8%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。・分配金実績がある場合は、ファンドの騰落率は分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

■【参考】カバード・コール戦略の状況

「為替プレミアムコース」では、原則として保有する外貨建資産の各通貨について、当該通貨(対円)のコール・オプションを売却することでカバード・コール戦略を構築します。これにより、当該通貨が円に対して強く(円安)になる場合の為替差益を得られない代わりに、オプション・プレミアムの獲得を目指します。

(2019年09月05日時点)

オプション・プレミアム(年率)	8.6%
カバー率	99.7%
平均権利行使期間	約1ヵ月

出所:ランタン・ストラクチャード・アセット・マネジメント・リミテッドの資料に基づき三菱UFJ国際投信作成
 ・上記は、「為替プレミアムコース」の主要投資対象である「ワールド・ココス・ファンドカバード・コール・クラス」におけるものです。
 ・オプション・プレミアム(年率)は、保有する外貨建資産に対するオプション・プレミアムの比率を各通貨毎に年率換算し、通貨別構成比率で加重平均したもので、1年間の合計値とは異なります。
 ・カバー率は、保有する外貨建資産に対する売却したコール・オプションの想定元本ベースでの比率を各通貨毎に計算し、加重平均したものです。
 ・権利行使期間は、原則として取引時点から1ヵ月程度としています。(変更される可能性があります)
 ・なお、平均権利行使期間の平均とは、複数コール・オプションを保有している場合は想定元本で加重平均したことを示したものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

世界CoCosオープン
〈愛称:ココマスター〉

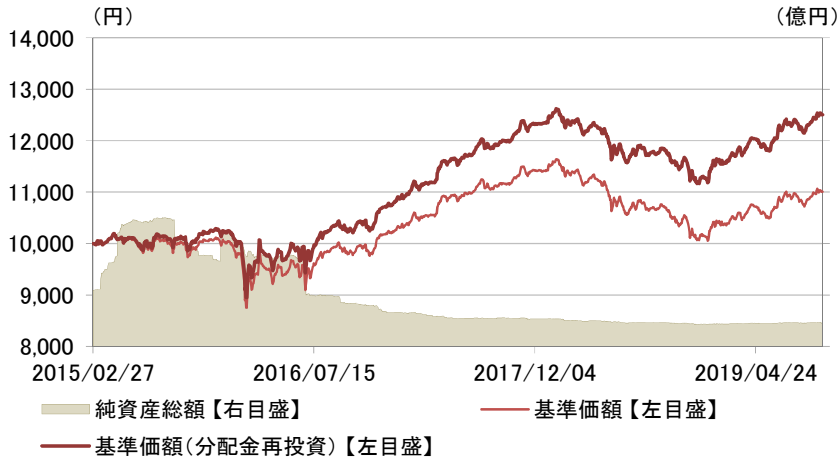
月次レポート

2019年
09月30日現在

追加型投信/内外/その他資産

為替ヘッジありコース(毎月決算型)

■ 基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■ 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.2%	2.3%	6.3%	5.9%	21.6%	25.0%

■ 基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	11,008円
前月末比	+106円
純資産総額	2.27億円

■ 分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第53期	2019/09/19	25円
第52期	2019/08/19	25円
第51期	2019/07/19	25円
第50期	2019/06/19	25円
第49期	2019/05/20	25円
第48期	2019/04/19	25円
設定来累計		1,325円

■ 資産構成

	比率
投資信託証券	98.5%
ワールド・ココス・ファンド	98.5%
JPYヘッジド・クラス	
マネー・プール マザーファンド	0.0%
コールローン他	1.5%

為替ヘッジなしコース(毎月決算型)

■ 基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■ 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.4%	1.2%	3.4%	-0.6%	30.9%	12.0%

■ 基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	9,760円
前月末比	+204円
純資産総額	1.67億円

■ 分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第53期	2019/09/19	25円
第52期	2019/08/19	25円
第51期	2019/07/19	25円
第50期	2019/06/19	25円
第49期	2019/05/20	25円
第48期	2019/04/19	25円
設定来累計		1,325円

■ 資産構成

	比率
投資信託証券	98.8%
ワールド・ココス・ファンド	98.8%
アンヘッジド・クラス	
マネー・プール マザーファンド	0.0%
コールローン他	1.2%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。・分配金実績がある場合は、ファンドの騰落率は分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

世界CoCosオープン 〈愛称:ココマスター〉

追加型投信／内外／その他資産

月次レポート

2019年
09月30日現在

実質的な投資を行う「ワールド・ココス・ファンド」の運用状況(※)(現地月末基準で作成)

(※)「ワールド・ココス・ファンド」(以下「投資先ファンド」ということがあります。)の資料を基に作成しています。

■組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 スペイン	27.5%
2 フランス	20.8%
3 イタリア	16.5%
4 スイス	13.7%
5 イギリス	12.2%
6 デンマーク	6.0%
7 -	-
8 -	-
9 -	-
10 -	-

■格付分布

格付種類	比率
AAA格	0.0%
AA格	0.0%
A格	0.0%
BBB格	32.4%
BB格	56.7%
B格	7.6%
CCC格	0.0%
CC格以下	0.0%
格付けなし	0.0%

■ポートフォリオ特性

	ファンド
最終利回り	4.9%
デュレーション	3.4
平均格付	BB

- ・最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを示しています。
- ・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションの値が大きいくほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。
- ・最終利回りおよびデュレーションについては、原則として、個別銘柄ごとに繰上償還条項が付与されている銘柄は、直近の繰上償還可能日に償還されない可能性を考慮し、その他の銘柄は償還日を使用して、投資銘柄の合計を100とした個別銘柄の構成比率で加重平均して計算しています。また、一部の銘柄についてはウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが想定する繰上償還日を使用して計算している場合があります。
- ・平均格付とは、基準日時点で投資先ファンドのポートフォリオを構成するCoCosの銘柄格付をCoCosの合計を100とした個別銘柄の構成比率で加重平均したものであり、投資先ファンドに係る格付ではありません。

■通貨別組入比率

通貨	比率
1 米ドル	53.2%
2 ユーロ	43.5%

■組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	通貨	償還日	組入銘柄数: 16銘柄	
				格付	比率
1 ユニクレジット	イタリア	ユーロ	2025/06/03	BB-	8.7%
2 BNPパリバ	フランス	米ドル	2021/03/30	BBB-	8.7%
3 クレディ・アグリコル	フランス	米ドル	2025/12/23	BBB-	8.5%
4 HSBCホールディングス	イギリス	米ドル	2027/05/22	BBB	8.5%
5 インターザ・サンパオロ	イタリア	ユーロ	2027/01/11	BB-	7.7%
6 クレディ・スイス・グループ	スイス	米ドル	2024/12/18	BB	6.9%
7 UBSグループ・ファンディング・スイス	スイス	米ドル	2020/02/19	BBB-	6.7%
8 ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行	スペイン	米ドル	2027/11/16	BB	6.6%
9 サンタンデル銀行	スペイン	ユーロ	2022/04/25	BB+	6.1%
10 ダンスケ銀行	デンマーク	ユーロ	2022/04/06	BB+	6.0%

- ・比率は投資先ファンドの純資産総額対比です。
- ・保有している証券に係る格付において、S&P、Moody'sおよびFitchにより格付が付与されている銘柄については、最も高い格付をS&Pの表示方法で表記しています。なお、格付分布については、付加記号(+、-等)を省略して集計し、S&Pの格付記号に基づき表示しています。
- ・償還日は繰上償還条項が付与されている銘柄については、原則として直近の繰上償還可能日、または償還日を記載していますが、一部の銘柄についてはウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが想定する繰上償還日を記載している場合があります。なお、上記「ポートフォリオ特性」における最終利回りおよびデュレーション算出時に使用する償還日と異なる場合があります。
- 格付のデータ出所: ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

世界CoCosオープン 〈愛称:ココマスター〉

月次レポート

 2019年
09月30日現在

追加型投信／内外／その他資産

■運用担当者コメント

【マーケットレビュー】

9月のCoCos市況は前月末比で上昇しました。

債券市場では、米国とドイツの長期金利はともに上昇しました。米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）が利下げを発表したものの、今後の追加緩和観測が後退したことや、米中貿易協議が10月前半に再開されるとの報道等が金利の上昇要因となりました。このような環境下、CoCos市況は、米国とドイツの長期金利がともに上昇したこと等がマイナスとなった一方で、世界的な株式市況の上昇等を背景にスプレッド（国債との利回り格差）が縮小したこと等がプラスとなり、上昇しました。

【投資先ファンド「ワールド・ココス・ファンド」の運用状況】

○現地9月末時点での投資先ファンドの有価証券組入比率は96.7%となりました。

○国別では、スペイン、フランス等を相対的に高めに組み入れました。格付け別では、投資適格級の比率は32.4%、非投資適格級の組入比率は64.3%となりました。

○通貨別では、米ドル建とユーロ建のCoCosを組み入れています。

○当月は、HSBCホールディングス、ユニクレディト等の上昇が投資先ファンドのリターンにプラスとなりました。

【今後の市場見通し・運用方針】

＜今後の市場見通し＞

欧州金融機関の長期的なファンダメンタルズは概ね底堅いものであり、CoCos市況のサポート要因になると考えます。なお、バーゼルⅢ（金融機関の自己資本の「質」と「量」の強化を目的とした新たな自己資本比率規制）の導入によって、銀行セクターが自己資本の強化やレバレッジ解消を進めていることも、銀行セクターのリスク低下の要因となっています。また、欧州では低金利および景気低迷が続いているものの、大手銀行は収益性を維持しています。こうした見通しの下、CoCosの割安感解消されつつあると考える一方で、比較的高いインカム収入とスプレッドの縮小の可能性から、CoCosには投資機会があるとみています。

＜今後の運用方針＞

資本、流動性、リスク等の面で改善が続くことが見込まれる発行体に関して、クレジット・ファンダメンタルズに基づく運用を行う方針です。加えて、事業環境の改善が見込まれる国で事業を行っている発行体を重視する方針です。また、足下のバリュエーションは引き続き魅力的な水準にあるとみており、市場動向を注視しつつ、投資機会を探っていく方針です。

・ワールド・ココス・ファンドの資料に基づき作成しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

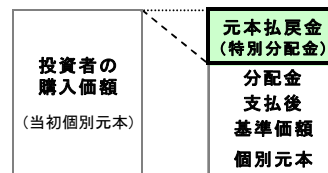
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定(購入時手数料を含む場合と含まない場合があります)、口数指定のいずれかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合](購入時手数料を含む場合)

例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

世界CoCosオープン (愛称:ココマスター)

追加型投信/内外/その他資産

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

■ファンドの特色

当ファンドは、為替戦略の異なる3つのコースから構成されています。

■ファンドのしくみ

・ファンド・オブ・ファンズ方式*により運用を行います。

*ファンド・オブ・ファンズ方式とは、株式や債券などに直接投資するのではなく、複数の他の投資信託証券に投資する仕組みです。

＜投資対象ファンド＞

ワールド・ココス・ファンド カバード・コール・クラス(為替プレミアムコースが投資します。)

ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス(為替ヘッジありコースが投資します。)

ワールド・ココス・ファンド アンヘッジド・クラス(為替ヘッジなしコースが投資します。)

マネー・プール マザーファンド

■スイッチング

・各コース間でのスイッチング*が可能です。

*スイッチングとは、各コースを換金した受取金額をもって当該換金の請求日に別の各コースの購入の申込みを行うことをいいます。

スイッチングを行う場合の手続・手数料等は販売会社に確認してください。なお、換金した場合、解約金の利益に対して税金がかかります。

※販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。

特色1 世界各国の金融機関が発行するCoCosを主要投資対象とします。

・ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが運用を行うワールド・ココス・ファンド(以下「投資先ファンド」ということがあります。)への投資を通じて、主として世界各国の金融機関が発行するCoCosに投資を行います。なお、投資先ファンドにおいて、投資環境の変化や流動性の確保等を目的に世界各国の国債等に投資する場合があります。

・マネー・プール マザーファンドへの投資も行います。

＜CoCosとは＞

劣後債および優先証券に偶発条件に関する以下2つの条項(トリガー条項)が実質的に付されているものをいいます。

①発行体の自己資本比率が一定水準を下回った場合における元本削減や普通株への転換

②発行体が実質破綻*となった場合における元本削減や普通株への転換

*実質破綻とは、金融当局等から元本の削減または公的機関の資金援助がなければ存続できないと認定されること等をいいます。

※トリガー条項の具体的な内容は、各国の規制や発行体の業種、個別銘柄等により異なることがあります。例えば、上記の①は銀行を対象とした場合の表記であり、それ以外の業種を対象とする場合には、異なることがあります。

トリガー条項が付されていない劣後債および優先証券と比較して、CoCosの特徴は以下の通りです。

1. 相対的に高い利回りが期待されます。

相対的に高い配当や利息が予め定められていることなどから、利回りが高くなる傾向があります。

※発行体の業績の悪化等により、配当や利息が繰り延べまたは見送られることがあります。

2. 価格変動は相対的に大きくなる傾向があります。

トリガー条項が付されていることから、信用リスクの変化の影響を受けやすく、価格変動が相対的に大きくなる傾向があります。

※上記は、一般的な特徴について説明したものであり、上記に当てはまらない場合があります。また、必ずしもすべてを表すものではありません。

※上記の内容は、将来変更となる場合があります。

トリガー条項に抵触しない場合であっても、金融危機等、市場を取り巻く環境の悪化に伴う信用リスクや流動性リスクの上昇によって、CoCosの価格が大幅に下落することがあります。

投資環境が大きく変化した場合には、信託財産の保全の観点から、投資先ファンドへの投資を縮小することがあります。

特色2 信用リスクに注視しつつ、リターンを獲得を目指します。

・ポートフォリオの構築にあたっては、経済や金利などマクロ的な投資環境の予測を基にしたトップダウン・アプローチと、個々の発行体の債務返済能力等を調査・分析するボトムアップ・アプローチを統合的に活用します。

・投資するCoCosは、取得時において、原則としてS&P社、Moody's社およびFitch社のいずれかからBマイナス格相当以上の銘柄格付けを取得しているものとします。これら3格付会社のいずれも格付けを付与していない場合には、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが、同等の信用格付け状況にあるかを判断します。

※取得後にBマイナス格相当未満になった場合は、保有し続けることがあります。

・投資するCoCosが株式に転換した場合、原則として、速やかに売却します。

※市況動向等によっては、速やかに売却できない場合があります。

・市場金利予測に基づき、保有するCoCosに対して債券先物を売り建て、金利変動リスクの低減をはかることがあります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

世界CoCosオープン 〈愛称:ココマスター〉

追加型投信／内外／その他資産

ファンドの目的・特色

特色3 各コースはそれぞれ異なる為替戦略をとります。

投資するCoCosは、米ドルやユーロなど流動性の高い通貨(日本円を除く)で発行されたものとし、各コースは以下の為替戦略をとります。

＜為替プレミアムコース＞

原則として保有する外貨建資産の各通貨について、当該通貨(対円)のコール・オプションを売却することでカバード・コール戦略を構築します。これにより、当該通貨が円に対して強く(円安に)なる場合の為替差益を得られない代わりに、オプション・プレミアムの獲得を目指します。

＜為替ヘッジありコース＞

保有する外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

＜為替ヘッジなしコース＞

保有する外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

■「為替プレミアムコース」のカバード・コール戦略について

・「為替プレミアムコース」のカバード・コール戦略とは、外貨建資産を保有しつつ、当該通貨(対円)のコール・オプションを売却し、オプション・プレミアムを獲得する戦略をいいます。

・売却するコール・オプションの権利行使価格は、取引時点の為替レートと同水準とします。

・原則として、満期日まで1ヵ月程度のコール・オプションを売却します。満期を迎えるごとに新たなコール・オプションを売却し、カバード・コール戦略を再構築します。

・カバード・コール戦略における通貨比率は原則として月1回の見直しのため、カバード・コール戦略構築後に外貨建資産の入替などを行った場合等には、外貨建資産とコール・オプションの通貨(対円)が合わなくなることがあり、十分なカバード・コール戦略とならないことがあります。

・この戦略により、原則として当該通貨が円に対して強く(円安に)なる場合の為替差益を得られなくなりますが、その対価としてオプション・プレミアムの獲得による収益の上乗せが期待できます。

【コール・オプションとは】

一般的にコール・オプションとは、「予め定められた期日(満期日)」に、「特定の商品(通貨や株式など)」を「予め定められた価格(権利行使価格)」で「買う権利」のことをいいます。コール・オプションを売却することで、売り手はオプション・プレミアム(売却による収入)を得ますが、同時に満期日において、買い手の権利行使に応じる義務を負います。当該コール・オプションの満期日において、コール・オプションの買い手が権利を行使することで、売り手にとって損失が発生する可能性があります。

資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、特色1～特色3のような運用ができない場合があります。

特色4 毎月決算を行い、収益の分配を行います。

・毎月19日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

・委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。

(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

世界CoCosオープン 〈愛称:ココマスター〉

追加型投信／内外／その他資産

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

＜為替プレミアムコース＞

- ・主要投資対象とする外国投資信託は、外貨建資産へ投資します。そのため、当該通貨が円に対して弱く(円高に)なれば基準価額の下落要因となります。
- ・主要投資対象とする外国投資信託は、保有する外貨建資産について、権利行使価格が取引時点の為替レートと同水準の円に対する当該通貨のコール・オプションを売却します。当該通貨が円に対して強く(円安に)なる場合は、売却したコール・オプションに損失が発生し外貨建資産の保有にともなう為替差益を相殺することから、原則として為替差益を得ることができません。このため、コール・オプションを売却しない場合に比べて運用成果が劣後する可能性があります。
- ・原則として、売却したコール・オプションが満期を迎えるごとに、新たにコール・オプションを売却します。保有する通貨が円に対して弱く(円高に)なった後に新たに同一通貨のコール・オプションを売却する場合には、権利行使価格が元のコール・オプションの権利行使価格よりも円高水準となるため、その後為替レートが元の水準に戻ったとしても、基準価額は元の水準を下回る場合があります。

為替変動 リスク

- ・コール・オプションは、円に対する当該通貨の水準に加え、金利や残存期間、変動率(ボラティリティ)の変化等により評価値が変動するため、売却したコール・オプションの評価値の上昇により損失が発生する場合があります。また、換金等に伴いオプション取引を解消する場合、市況動向や資金動向次第では不利な価格で解消しなければならないケースが考えられ、この場合には基準価額の下落要因となります。

＜為替ヘッジありコース＞

主要投資対象とする外国投資信託は、外貨建資産へ投資し、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、設定や解約等の資金動向、為替ヘッジのタイミングおよび範囲、ならびに市況動向等の要因により、完全に為替変動リスクを排除することはできません。

また、円金利が当該通貨の金利より低い場合、円と当該通貨との金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

＜為替ヘッジなしコース＞

主要投資対象とする外国投資信託は、外貨建資産へ投資します。そのため、当該通貨が円に対して強く(円安に)なれば基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なれば基準価額の下落要因となります。

金利変動 リスク

CoCosは、配当や利息が予め固定されているものがあり、金利上昇時には相対的な魅力が弱まるため、当該証券の価格が下落して当ファンドの基準価額の下落要因となることがあります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

世界CoCosオープン 〈愛称:ココマスター〉

追加型投信／内外／その他資産

投資リスク

CoCosには、発行体が破綻する前において以下2つの偶発条件の少なくともいずれかに該当した場合は、元本削減や普通株へ転換される条項(トリガー条項)が実質的に付されています。

- ・発行体の自己資本比率が一定水準を下回った場合

- ・発行体が実質破綻*となった場合

*実質破綻とは、金融当局等から元本の削減または公的機関の資金援助がなければ存続できないと認定されること等をいいます。

※トリガー条項の具体的な内容は、各国の規制や発行体の業種、個別銘柄等により異なることがあります。

元本が削減される場合には、法的弁済順位にかかわらず普通株よりも先に損失を負担することとなり、元利金の弁済が受けられないことがあります(全損となることもあります。)

普通株に転換される場合には、転換後の価値が、元本を大きく下回る可能性があります。

なお、国際的な金融危機が発生した場合には、複数のCoCosが同時期に偶発条件に該当する可能性があり、当ファンドの基準価額が大幅に下落するおそれがあります。

また、CoCosは、これら偶発条件に該当しない場合においても、トリガー条項のない劣後債および優先証券と比較して、価格変動が大きい傾向があるため、当ファンドの基準価額の変動も大きくなる可能性があります。

〈繰上償還に関するリスク〉

CoCosには、一般的に繰上償還条項が付与されていることが多く、繰上償還の実施は発行体が決定することとなります。繰上償還の実施の有無に関して、市場の見方と発行体の決定が異なった場合などには、当該証券の価格が変動し、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、相対的に高い配当や利回りの証券が繰上償還された場合に、同程度の配当や利回りの代替投資先が見つからず、ポートフォリオのインカムゲインが減少する場合があります。

〈利息、配当または元本の支払いに関するリスク〉

CoCosには、利息、配当の支払繰延条項等が付与されているものが多く、発行体の財務状況や収益動向等の要因により、利息、配当の支払いが繰延べまたは停止される可能性や、利息、配当または元本が減額される可能性があります。

〈法的弁済順位が劣後することによるリスク〉

一般的に、発行体が破綻等に陥った場合、CoCosの法的弁済順位は、普通社債に劣後します。したがって、他の優先する債権が全額支払われない限り、元利金の支払いを受けることができません。また、発行体が経営不安、倒産、国有化などに陥った場合には、これらの証券の価値が大きく減少すること、もしくは無くなることもあり、この場合には当ファンドの基準価額が大幅に下落することがあります。

〈法制度の変更リスク〉

実質的に投資している有価証券等にかかる法制度の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、当ファンドの基準価額は下落し、損失を被ることがあります。

特定の業種への集中投資リスク

当ファンドは金融機関が発行する有価証券に集中的に投資するため、個別の金融機関の財務状況および収益動向等に加え、金融機関を監督する金融当局の政策方針など金融業種固有の要因による影響を受けます。したがって、集中投資を行わないファンドと比較して、基準価額の変動が大きくなる場合があります。金融機関の財務状況に対する懸念の高まりや金融規制の変化等により、有価証券の価格が下落した場合は、当ファンドの基準価額が大幅に下落することがあります。

信用リスク

実質的に投資している有価証券等の発行体の倒産、財務状況または信用状況の悪化等の影響により、当ファンドの基準価額は下落し、損失を被ることがあります。

一般的に、格付けの低いCoCosは、格付けの高いCoCosと比較して、トリガー条項に抵触するリスクやデフォルト(債務不履行および支払遅延)が生じるリスクが高いと考えられます。トリガー条項への抵触やデフォルトが生じた場合または予想される場合には、CoCosの価格は大きく下落する可能性があります。なお、このような場合には、流動性が大幅に低下し、当ファンドの基準価額が大幅に下落することがあります。

流動性リスク

- ・有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、買い需要がなく売却不可能、あるいは売り供給がなく購入不可能等となるリスクのことをいいます。例えば、市況動向や有価証券等の流通量等の状況、あるいは当ファンドの解約金額の規模によっては、組入有価証券等を市場実勢より低い価格で売却しなければならないケースが考えられ、この場合には当ファンドの基準価額の下落要因となります。

- ・CoCosは、相対的に市場規模や証券取引量が小さく、投資環境によっては機動的な売買が行えないことがあります。

カントリー・リスク

当ファンドは実質的に新興国の発行体が発行する有価証券等に投資する場合があります。その場合、当該新興国の政治や経済、社会情勢等の変化(カントリー・リスク)により金融・証券市場が混乱して、当該有価証券等の価格が大きく変動する可能性があります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

世界CoCosオープン 〈愛称:ココマスター〉

追加型投信／内外／その他資産

投資リスク

■その他の留意点

＜為替プレミアムコース＞

- ・外貨建資産の売買、市場環境、資産規模あるいは資金流入の状況等によっては、カバード・コール戦略を十分に行えない場合があります。
- ・ファンドの名称中の「プレミアム」とは、オプション・プレミアムの「プレミアム」を意味します。

＜当ファンド＞

- ・当ファンドはケイマン籍の投資先ファンドを通じて投資を行うため、日本と投資を行う国との間で締結されている租税条約による軽減税率は適用されません。
- ・当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	ニューヨークの銀行、ニューヨーク証券取引所、ロンドンの銀行、ルクセンブルクの銀行のいずれかが休業日の場合には、購入・換金はできません。 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	各コースの資金管理を円滑に行うため、原則として1日1件5億円を超える換金はできません。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
スイッチング	各コース間でのスイッチングが可能です。 ※販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。 スイッチングを行う場合の手続・手数料等は、販売会社にご確認ください。
信託期間	2020年2月19日まで(2015年2月27日設定)
繰上償還	各コースについて、受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 なお、各コースが主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合には、当該コースは繰上償還となります。
決算日	毎月19日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

世界CoCosオープン (愛称: ココマスター)

追加型投信/内外/その他資産

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.30%(税抜 3.00%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

各コース	日々の純資産総額に対して、 年率1.1330%(税抜 年率1.0300%) をかけた額 ※日々計上され、各コースの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に各コースから支払われます。
運用管理費用 (信託報酬)	<p>■為替プレミアムコース 投資対象ファンドの純資産総額に対して、年率0.74%程度 (マネー・プール マザーファンドは除きます。)</p> <p>■為替ヘッジありコース/為替ヘッジなしコース 投資対象ファンドの純資産総額に対して、年率0.65%程度 (マネー・プール マザーファンドは除きます。)</p>
実質的な負担	<p>■為替プレミアムコース 当該コースの純資産総額に対して、年率1.8730%程度(税抜 年率1.7700%程度)</p> <p>■為替ヘッジありコース/為替ヘッジなしコース 各コースの純資産総額に対して、年率1.7830%程度(税抜 年率1.6800%程度) ※各コースの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。</p>
その他の費用・ 手数料	<p>監査法人に支払われる各コースの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についても各コースが負担します。</p> <p>※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。</p> <p>※監査費用は、日々計上され、各コースの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に各コースから支払われます。</p>

※投資対象とする投資信託証券における信託(管理)報酬率を含めた実質的な信託報酬率について、信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、外国投資信託証券のファンド設立に係る費用、法律関係の費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息等は確定していないことなどから、実質的な信託報酬率には含めておりません。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各コースが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 世界CoCosオープン

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○